

みなとまちづくりの成果

産業ミュージアム部会

ウォーターフロントミュージアム部会

歴史ミュージアム部会

○案内板設置

高砂町の歴史を知ってもらうため、竜山石を用いた歴史的資源の説明板24箇所を設置しました。



竜山石を用いた石柱

○堀川地区のまちなみの保存

修復され一般公開されている工楽邸の駐車場及びトイレの整備、道路整備（カラー舗装）を行いました。



駐車場及びトイレの整備

カラー舗装された道路

堀川地区に現存する古民家を活用して、高砂の歴史資料を展示するスペースを設け、高砂地区まちづくり協議会がギャラリー等に活用しています。



高砂来て民家「花井家住宅」

○歴史回廊ルート・観光ガイドづくりとイベント実施

「高砂歴史ガイドクラブ」などが語り部育成を行っています。そして、旅行者及び市民、小学生などに対してセミナーやまち歩きを実施しています。



ガイドクラブによるまち歩きの様子

○高砂の表玄関づくり

令和2年2月に高砂駅周辺整備基本計画が策定されました。令和3年11月より地権者を対象とした説明会を開催し、協議しています。



高砂駅前広場のイメージ図

「高砂みなとまちづくり構想」をもとに取り組んできた成果を紹介します！



○南北交通軸の整備

沖浜平津線は慢性的な渋滞が発生するなど地域社会、経済活動に支障をきたしていましたが、平成29年12月に小松原工区が完成し、自転車道も整備された安心・安全な通行ができる道路として活用されています。

沖浜平津線（小松原工区）着手後



○あらい浜風公園の利活用

あらい浜風公園に一人でも多く足を運んでもらおうと、取り組みの一つとして「ふれあい花壇」の充実を図っています。市民のみなさんにより植えられており、一年を通して綺麗な花を咲かせています。



ふれあい花壇に植栽する様子

○高砂海浜公園・向島公園の利活用、公園整備や公園施設の改良及び海辺の保全

高砂海浜公園は白砂青松や海に浮かぶ人工島が広がり、水遊びや散歩など一年を通して楽しめる公園です。公園内は車いす利用もできるように、舗装や手すり、多目的トイレの整備を行いました。また、人工島には夕焼けを眺望できる休憩所の整備を行いました。



多目的トイレの整備



夕焼け眺望できる休憩所

○堀川周辺の歴史再現空間との連携

たかさご万灯祭は平成18年に高砂町が「歴史的景観形成地区」に指定されたことをきっかけに、「みなと堀川まつり」という名称で始まりました。翌年の平成19年から官民が一帯となった実行委員会を立ち上げ名称も「たかさご万灯祭」と名称変更し、昨年で13回目を迎えました。



高砂銀座商店街のライトアップ

○高砂西港リニューアル

臨海部企業の需要に対応するため、臨海部企業の物流拠点として専用ふ頭、公共ふ頭の整備、親水空間の一体整備としてみなとの丘公園の整備が平成28年3月に完成しました。



高砂西港整備後の写真



○空き店舗活用

高砂商工会議所が中心となり取り組んでいる「LINC プロジェクト」により、高砂銀座商店街の空き店舗をコワーキングスペース「LINC TAKASAGO」として活用されています。



コワーキングスペース「LINC TAKASAGO」

○伝統産業のPR

高砂には、古墳時代から採掘されている「竜山石」や、江戸時代に姫路藩を代表する特産品として生産された「高砂染め」、江戸時代の海運の繁栄に大きな役割を果たした「松右衛門帆」があります。これらの魅力を観光交流ビューローが、ホームページやポスター、チラシ、ワークショップの実施により情報発信しています。



ワークショップの案内と竜山石のPR

○播磨臨海地域道路の整備

播磨臨海地域道路は、交通量の不足、慢性的な交通渋滞、多発する交通事故の3つの地域の課題を改善するとともに、ものづくり拠点である播磨臨海地域の発展に必要な道路です。令和4年には、国土交通省による調査結果を参考に「都市計画・環境影響評価手続き」に向けて関係機関協議等の所定の調整を実施しています。



播磨臨海地域道路のルート帯